

平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原第一中学校 会長名 渡邊 聡

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・成人教育部 PTAだよりの発行（年3回）、三校合同後援会
- ・生活指導部 校区内巡視（年4回）、運動会巡視、地域祭典巡視（吉原祇園祭・富士まつり）
- ・環境整備部 奉仕作業（学年単位で各1回、計年3回）、環境整備協力金を集金
- ・体育保健部 三校ソフトバレー大会、校内ソフトバレー大会、運動会でのPTA競技の開催
思春期講座参加
- ・学年学級部 学級別懇談会、コサージュ作り、給食試食会、市P連母親委員会出席
制服等のリサイクル配布、文化発表会でのドア係
- ・企画調整部 P T Aにおける各種会議の運営進行
研修旅行・懇親会の企画・実施

取り組みの効果

1. ④ 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

— 具体的な効果 —

年間11回の総務会を通じ各部の活動・事業の内容確認を行い、総務会役員と先生方との連携をとりPTA活動を推進し、下記の活動を行いました。

- ・成人教育部 三校合同講演会を吉原一中主催で10月13日に開催しました。300人以上の児童・生徒・保護者が集まり盛況でした。
PTAだよりの発行では、役員と先生方の協力のもと多くの学校行事やPTA活動についての記事を掲載することができました。
- ・生活指導部 各巡視項目にて多くの方に参加、協力していただきました。
生徒たちの活動に大きな問題も起こらず、安心、安全に行動するお手伝いできたと思います。
- ・環境整備部 奉仕作業では、短時間ではありますが、多くの方に参加・協力していただき、集中して一生懸命美化活動に協力していただきました。
- ・体育保健部 主にソフトバレー大会を通して、教職員、保護者及び生徒の交流をもつことができ、さらなる相互理解ができました。
- ・学年学級部 学級別懇談会は現在市内の中学校の中で一中だけが開催しており、思春期の子供を持つ親同士の情報交換や先生と保護者とのコミュニケーションの場となり、とても有効な行事であると思います。しかし、役員の負担が大きくなっているのが現状です。
制服等のリサイクルについての説明をした後に配布しました。
品物の陳列場所を広く確保し、品物を種類別に掲示して、陳列場所をわかりやすくしました。
配布時の安全を確保し、希望者が品物を選びやすくなりました。
保護者が短い時間に希望の品物が見つかりよかったと意見を頂きました。
- ・企画調整部 各種会議において円滑な進行ができました。
PTA総務会役員・教職員・後援会が懇親を深め連携をとることができ、スムーズな活動につながりました。

－反省点－

- ・現状の活動を引き継ぐだけではなく、更に活動内容を充実させるよう改善していきたいと考えています。
- ・安全、安心に慢心する時こそ危険を見逃していることを自覚し結果を良しとせず、地道にこの運動を続けていきます。
- ・研修旅行については研修先の選定・予算について事前に検討を重ねて計画し、実施していきたいと思います。
- ・奉仕活動には、マンパワーが必要ですが、環境整備役員は元々メンバーが少ないうえ、仕事と重なってなかなか率先的な役割を果たせませんでした。
- ・学年学級別懇談会について、各クラス司会者と書記の方をお願いするなど大勢の方に協力を頂く会です。役員負担も大きく各クラスの保護者出席人数が少ないクラスが増えてきました。

－改善案－

- ・児童数、世帯数の減少で地区評議員の見直しを検討していきたいと考えています。よりスムーズな進行ができる様、部会で検討していきたい。
 - ・慣習的な男性で役員を構成していますが、今後は男性に限らず幅広く募っていく努力をしていきたいと思います。
 - ・PTAだよりを前回と同じ形式で編集しましたが、もう少し工夫変更をしたかったです。
 - ・地域住民のもつ意識の高さによって安心、安全は担保されます。私たちは常にそのことを忘れず子供たちを見守っていかなければならないと考えます。皆がお互いに声を掛け合い安全を常に確かめ合うことこそが、安全なまち、ひいては子供たちを守るまちづくりにつながっていくものと思います。
 - ・学年学級別懇談会に換わる話し合いの場を設けたいです。
- ・失われつつある地域のつながりとして、PTA活動もその一つとして挙げられますが、この運動をもっとたくさんの人に理解していただくよう、私たちから声を掛け続けていきたいと思います。
- PTA（親や学校）だけでなくこのまちの住人すべてが安全を意識しつながり合い大切な子供たちをまち全体で見守っていける日が来ることを心より願います。

平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 吉原第二中学校 会長名 望月 紀志

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・三校合同事業(青葉台小P T A主催)
- ・役員会 (組織改正・役員選出方法改正)
- ・給食試食会 ・献血活動 ・飾り巻きずし講座 ・卒業生コサージュ作り
- ・朝の挨拶運動 ・古紙回収 ・奉仕作業 ・救急救命法講習会
- ・P T A新聞発行 ・情報交換会 ・運動会準備

取り組みの効果

1. **有** 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

- 給食試食会や飾り巻きずし講座、卒業生コサージュ作りなどに参加していただき、充実した活動となった。さらに、P T A新聞等により、それらの活動を地域に発信することができた。
 - 学校行事に対して全面的にバックアップすることで、運動会や文化発表会などを円滑に運営することができた。
 - 朝の挨拶運動や校内巡視などは、子どもたちの健全育成につながった。
 - 古紙回収等の収益金は、教育活動に生かすための様々な物品を購入することができた。
 - ◎活動を通じて、様々な場面で保護者と教師が連携することにより、教育活動に対する保護者の理解が深まり、P T A活動は、学校には欠かせないものだと改めて感じることができた。
 - ◎地域小中学校のP T A同士が三校合同事業を通して交流できたことも今後の大きな財産となった。
 - ◎役員の負担軽減等を図るため、活動内容などを精選し役員会を必要最低限に減らすことができた。
- また、今まで副部長以上の役員は一本釣りだったが、理事の輪番制と同様の選出方法を一部取り入れて選出されることとなった。

—反省点—

活動が活発になるにつれ、役員、教員ともに負担が増えてしまうところがあった。上記のとおり役員の選出方法を改正したが、なりて不足の問題は解決しない。

—改善案—

活動の改善、特に削減については、役員、教員とも、なかなか言い出せないものがあるが、負担を感じるものについては遠慮なく意見を交換し合い、改善策を見つけ、状況によっては、削減していくことが大切であり、よりよいP T A活動につながっていくと思われる。

平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 吉原第三中学校 会長名 前田 俊輔

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

成人教育部

P T A新聞「季みどり15号」「さみどり100号・101号」発行

- ・節目の発行と校門のリニューアルも重なり、過去の創刊に関することや校門の建設時のことなどについて取材した。

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・「季みどり」の造語の由来を聞くことができた。発足時のことを簡単でしたが、改めて知ることができた。
- 「温故知新」、古きを知ったうえでの時代背景に合わせて取組を伝えていくのも、P T A新聞の役割の一つと再認識する良い機会でした。

—反省点—

- ・「さみどり」では、取材対象の方々が高齢のため、存命されている方が見当たらず、直接話を聞くことができなかった。

—改善案—

- ・例年通りと流されて活動していくのではなく、見つめ直し、残された学校の一部の歴史を紹介し、伝えていくことが必要だと思います。学校への愛着が増すきっかけ作りを、新聞を通してこれからもできるよう引き継いでいきたいです。

平成 29 年度 PTA 活動最終報告

学校名 富士市立元吉原中学校 会長名 望月 理恵

平成 29 年度重点活動の具体的な取り組み内容

今までの PTA 活動を見直し、改善が必要と思われる点、精選できる点を洗い出し、各専門部および支部長会にて協議の上、改善・精選した。

- ・ PTA 奉仕活動を 3 回から 2 回に減らした。
- ・ アルミ缶の回収について、常時学校にて回収していたが、管理の面から廃止し、PTA 奉仕活動のみの回収とした。
- ・ 奉仕活動の回収物の引き取り業者を、シーズイシハラに一本化した。
- ・ 来年度の PTA あいさつ運動を年 4 回から年 3 回へと減らし、長期休業明けに実施とした。
- ・ 協議内容が特にない月の支部長会を中止した。
- ・ 夏の夜間パトロールは、生徒も住民もあまり見当たらず、効果が少ないと判断し、廃止した。
- ・ 毘沙門天大祭パトロールは、教員と保護者とパトロール地区を分担し、短時間で効果的な時間に実施するように変更した。

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを「反省点」に記入）

「具体的な効果」

- ・ 保護者と教職員の負担が減り、効果的な活動をすることができた。
- ・ PTA 故紙回収は、回数を減らした分、1 回あたりの収益が増加となった。

「反省点」

- ・ 学校近隣の住民からは、「学校でも回収してほしい」という声が挙がっている。

「改善案」

- ・ 次年度、学校でも回収できないか検討していく。

平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原東中学校 会長名 草野 純

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

- 1 各専門部の活動
- 2 楽しいP T A
- 3 P T A活動における役割分担

取り組みの効果

1. 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)
- 具体的な効果—

- 1 各専門部において円滑な活動が行われた。
- 2 役員と先生方との親睦を深め、楽しい1年でした。
- 3 各部で役割分担を行い、人数が足りないところは保護者の協力があり、相互扶助ができた。

—反省点—

- ・ 地域行事の協力において、負担の大きい専門部があった。

—改善案—

- 1 働いている方にも参加していただけるような体制作り
- 2 これからも少子化に伴い保護者の数が減ることが予想され、また、家庭環境の変化等があるため、従来通りのP T A役員の数や活動の見直しにきている時期であり、保護者に負担のないP T A活動を行いたい。
- 3 地域の特性として、外国人の保護者にも理解していただける広報活動を行いたい。

平成29年度 P T A活動最終報告

学校名： 富士市立須津中学校

会長名： 菅野大樹

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

昨年度に引き続き、できるだけ多くの保護者の皆さんにP T A活動に参加・興味を持っていただけるような取り組みを行った。

● 奉仕作業

学校敷地内だけでなく、学校の周囲を含めて除草、植木の剪定などを行った。運動会、および須津地区の区民体育祭の前に実施するようスケジュールを組むことで、学校行事・地域行事が気持ちよく行えるよう、保護者・先生・生徒が一丸となって行った。

また家庭教育委員の皆さんには、図書室の清掃を行っていただくと共に、不足していた本棚の棚数を増やすため、本棚の改良に取り組んでいただいた。

取り組みの効果

1. ① 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを一反省点—に記入）

—具体的な効果—

「学校評価アンケート」より「教育活動に関心があるか？」の問いに対して、「①あてはまる」、「②ややあてはまる」、「③あまりあてはまらない」、「④あてはまらない」、「⑤無回答」の5項目回答があった。

平成28年度、および本年度の結果は以下のとおりである。

● 平成28年度

人数	①人	②人	③人	④人	⑤人	計人	%換算	①%	②%	③%	④%	⑤%
1年生	19	64	7	1	1	92	1年生	20	70	8	1	1
2年生	16	68	13	0	2	99	2年生	16	69	13	0	2
3年生	27	101	4	0	2	134	3年生	20	75	3	0	2
合計	62	233	24	1	5	325	合計	19	72	7	0	2

● 平成29年度

人数	①人	②人	③人	④人	⑤人	計人	%換算	①%	②%	③%	④%	⑤%
1年生	17	62	9	1	1	90	1年生	19	69	10	1	1
2年生	19	51	17	0	0	87	2年生	22	59	20	0	0
3年生	13	50	6	1	0	70	3年生	19	71	9	1	0
合計	49	163	32	2	1	247	合計	20	66	13	1	0

本年度の「教育活動に関心がある」に対する回答は、平成28年度と比べて「①あてはまる」はほぼ同率であるが、「②ややあてはまる」は全学年共に減少している。特に本年度2年生（平成28年度、1年生）の割合が大きく減少しており、来年度の取り組みをより関心を持ってもらえるものに変えていく必要があると考える。

本年度、本校は「PTAのつどい」において実践活動発表を行った。PTA本部、および各専門部が主催となって行った活動を動画撮影し、他校を含めた多くのPTA関係者の方々に、本校の活動を知っていただくよい機会となった。

各専門部の部長・部員、保護者の皆さん、および先生には、実践活動発表の実績作りのためご協力をいただき、例年以上に活発な活動を行うことができた。

—反省点—

PTA活動は夜に集中しがちである。多くの保護者の方はお仕事を終えたうえで、もちろん先生も同様にお仕事を終えたうえでの参加・活動となる。

本年度が「働き方改革・元年」であったことを考えると、夜の活動を減らす取り組みを行うべきだった。夜に活動が集中していることが、保護者の皆さんがPTA活動へ係わりあう機会を減らし、その結果教育活動への関心の低下につながっているのではないかと推測している。

—改善案—

反省点を踏まえ、来年度のPTA活動を見直していきたい。

具体的には以下の点について見直す。

- 活動内容をより参加しやすいものへ変更
- 活動回数を見直すことで、専門部の部長・部員の負担軽減

以上

平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立大淵中学校 会長名 勝亦 光章

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・成人教育部 年2回のP T A新聞発行
保護者向け、教育後援会の実施(講師;佐野登氏 能楽師シテ方)
- ・生活指導部 校内・地区巡視および夜間の巡回とパトロール
臨時パトロールを10月と11月に行い強化
- ・環境整備部 古紙とペットボトルの回収事業
校内の草取りと枝の剪定などの美化活動を実施
- ・体育保健部 P T Aと教職員の親睦球技大会の開催
親子普通救急救命講習会の開催
- ・家庭教育委員会 朝の登校時における挨拶運動の実施
マドレーヌと古着の販売、卒業生へのコサージュ作り
- ・P T A四役 3年生の合格祈願を行い、合格鉛筆を3年生に贈呈

取り組みの効果

1. **有**
2. 無(なぜ効果がでなかったのかを-反省点-に記入)

—具体的な効果—

各専門部のP T A事業を通し、P T A会員同士がコミュニケーションを深めている。保護者の団結力が高まり、学校を支える大きな力となっている。また、役員を中心に専門部に所属する教員とも気軽に情報交換ができることで、家庭と学校が協力して子どもの成長を見守れている。

—反省点—

P T A事業への参加者は、確実に増加してきている。しかし、体育保健部の親子普通救急救命講習会は、P T A役員や理事の参加に偏り、参加人数が少なかったため2年連続で中止になってしまった。東海地震や富士山の噴火など、様々な自然災害が考えられる地域なので、講習内容を検討するとともに保護者への呼び掛けを強化し、開催できるように工夫していきたい。

—改善案—

- ・各P T A事業の後に専門部ごとに反省会を開催し、参加人数・参加者の構成、会員のニーズを分析し、役員以外の一般会員の参加を増やす努力をする。
- ・まち Comi メールを活用し、各事業の周知、活動の様子などを全会員に報告することで、誰でも参加しやすいP T A活動を推進していく。

平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士中学校 会長名 八木 祥子

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・昨年度と同様に、三校合同事業は実施しなかった。校内で行う教育講演会では、本校スクールカウンセラーの加藤陽子氏に依頼し、「思春期の子どもとの関わりかた」という演題で、講演会を実施した。加藤氏と相談のうえ、講演料は無料で実施した。

取り組みの効果

1. ⑦
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・思春期の子どもにどう接していいかと悩む保護者へ、思春期に不安定になるしくみや精神状態を、心理学や生理学の面から詳しく話をしてくださり、大変参考になった。また、過度なストレスから身を守る呼吸法など、体験を交えての講演であり、参加者から好評であった。

－反省点－

- ・講演会後に役員会を実施したため、参加できたのはP T A役員と数名の先生方だけであった。もっと多くの教員の参加ができるとよかった。

－改善案－

- ・会場を視聴覚室にこだわらず、体育館で実施するなど臨機応変に対応する。

平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 田子浦中

会長名 鈴木 章司

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ① P T A会員の親睦：ソフトバレーボール大会での怪我防止
- ② 古紙回収：収量収益の改善
- ③ 地域とのつながり：みなと祭り、地区文化祭、みなとマラソン他地域行事への参加

取り組みの効果

- 1. 有
- 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ① P T A親睦ソフトバレーボールでの怪我の再発防止

昨年度はなかったが、ここ数年ソフトバレーボールにおいて怪我が連続して発生している。そのため、競技開始前の準体操の徹底、怪我の起こりにくいルールづくりなどを行った。これらの対策により、本年度は怪我人を出すことなく終了することができた。

- ② 故紙回収の収量・収益の改善

故紙回収は近年収量・収益ともに減少傾向にあった。本年度の取り組みとして、総会や理事会、環境整備部会において故紙回収に故紙を出していただくよう繰り返しお願いした。結果本年度は昨年度以上の収益を上げることができた。

- ③ 地域とのつながり

田子浦まちづくり協議会、区長連絡会等、地域の各種団体の方々と P T A役員及び中学生ボランティアの世代を超えた交流が図れた。

－反省点－

- ① ルールを見直し、誰もが簡単に取り組めるようにしたが、一部の人にとっては物足りなさを感じたのではないだろうか。また、年々地区によっては人数が集まらず、大変な思いをされている地区もある。どうしても人数が不足する地区は、バレー部の生徒を借りて行ったが、来年もそのような形をとらざるを得ない地区が出るかもしれない。
- ② 古紙回収の課題は会員数が多いものの収量が少ない地区の収量改善である。特徴として母親の役員のみ活動になっていることがあげられる。母親だけの回収には限界があり父親の参加が望まれる。他地区のように故紙回収は父親の仕事という空気を作っていきたい。またトラックの確保や運転者の確保が大変になってきている。この点については各区の区長に協力をいただきトラックの提供や運転を区の皆さんにご協力をお願いし、故紙回収は田子浦地区のためのもの地区をあげての活動という意識の転換を図りたい。
- ③ 地域とのつながりでは、より多くの中学生、P T A会員に参加してもらえる仕組みを構築しなければならぬと感じた。

平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立岩松中学校 会長名 馬場 浩司

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ P T A 懇親の積極的実施（スポーツを通して親睦を図った。）
- ・ 他校、他団体行事への積極的協力
（五団体教育講演会（岩松小）、親と子のつどい（岩松北小）、かりがね祭り、梅まつり）
- ・ 学年ごとの奉仕作業実施

取り組みの効果

1. ① 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・ 保護者、先生が多数参加し、大いに懇親を図れた。
- ・ 他校、他団体への行事に参加することにより、新たな交流や出会いがあった。
- ・ 奉仕作業には保護者が多数参加したことにより、子どもたちの学びの場をきれいにしてやろうという気概が感じられようになった。

－反省点－

- ・ 球技大会に向けての練習日（回数）、試合形式を無理のないように考えなければいけない。
- ・ 毎回休日に実施してきた奉仕作業に関して、終了時間を決めてやっているの、その後の予定を立てやすく、よいという意見が多数聞かれた。

－改善案－

- ・ 球技大会に向けて、練習日を少なくし、その分1回の時間を長くしてさらに内容も充実させる。
- ・ 奉仕作業については今後も継続していく。

平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士南中学校 会長名 小山 弘史

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

・生徒、保護者、地域にとってより良い学校環境づくり

(1) 成人教育

P T A新聞の発行。三校合同事業として「認知症サポーター養成講座」に参加。

(2) 体育保健

ソフトバレーボール大会。

(3) 環境整備

古紙回収（学校で集積・業者に搬入）。親子奉仕作業（校地内清掃・樹木選定）。

(4) 生活指導

学年懇談会。夏休み及び甲子祭における巡視。登校時のあいさつ運動。

(5) 母親委員

給食試食会。バザーを開催して、制服等リサイクル・日用品バザー。卒業生用のコサージュラッピング。

(6) 各部共通の取り組み

運動会において、会場巡視・P T A種目参加等。校内巡視。

文部科学省の道徳教育推進事業の一環で行われた、三校合同子育て講演会に6月、11月の2回参加。

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・文部科学省の道徳教育推進事業の一環で行われた三校合同子育て講演会には、中学生をやる気にさせる言葉掛けの方法や家庭での食の重要性について学ぶことができた。
- ・富士南小が主催した「認知症サポーター養成講座」には保護者に加え、生徒も参加した。加速する高齢化社会に向けて役立つ知識を身に付けることができた。
- ・古紙回収の日程を小学校とずらしたため、回収量が多くなった。

—反省点—

- ・給食試食会に1年生の保護者の方が多く参加していただいたが、人数が多すぎたため食器が不足する、配膳が遅くなるなどの問題点が生じた。

—改善案—

- ・給食試食会の日程を、2年生が職場体験で学校外で活動する日に設定する。

平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 鷹岡中学校

会長名 松尾正樹

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

本部 : 天文教室 環境整備部 : 奉仕作業
生活指導部 : 子育て講演会 体育保健部 : インディアカ大会
成人教育部 : 大鷹新聞発行 家庭教育委員会 : バザー

取り組みの効果

1. 有
2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

— 具体的な効果 —

家庭教育委員会

- ・バザー用品の用品の集め方を工夫したことで、前年よりたくさんの物品が集まった。

— 反省点 —

生活指導部

- ・子育て講演会への参加者が少なかったため、内容や呼び掛け方法を考え直したい。

— 改善案 —

- ・各専門部の三役が、すべての専門部の活動を意識して助け合えるようにしたい。

平成 29 年度 P T A 活動最終報告

学校名 富士市立岳陽中学校 会長名 佐野 光彦

平成 29 年度重点活動の具体的な取組内容

- | | |
|--------|--|
| 成人教育部 | ・ P T A 新聞「陽だまり」の発行（年 3 回）
・ 地区文化祭壁新聞づくり |
| 環境整備部 | ・ 奉仕作業、古紙回収、アルミ缶回収の実施（年 3 回）
・ バザーの実施 |
| 体育保健部 | ・ 親子ファミリーバドミントン（練習会と大会の運営）
・ 体育大会 P T A 種目「メディシンボール」参加、駐車場係
・ 親子護身術講習会 |
| 生活指導部 | ・ ハイタッチあいさつ運動（年 2 回）
・ 下校時見守り活動
・ 県下一斉補導（年 2 回）
・ 広見夏まつり巡視活動 |
| 家庭教育委員 | ・ 「感謝の日」プレゼント作り
・ 卒業生用コサージュづくり |

取組の効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・ 各行事への参加を呼び掛けたり、活動をしたりすることを通して、教職員と保護者、保護者同士の親睦が広がったり、深まったりした。
- ・ 学校と P T A または地域との連携が増え、学校の教育活動に対する保護者や地域の理解や協力が深まった。
- ・ 親子で参加する活動を通して、家族間のコミュニケーションを図ることができ親子の会話が増えた。

—反省点—

- ・ さらに、活動内容を充実させていくために、来年度の活動計画を見直し、力の入れどころを明確にしていく。

—改善案—

- ・ 大規模校ならではの強みを生かして、人材を生かしながら古紙回収やアルミ缶回収、バザーなどを充実させる。

平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原北中学校 会長名 村上 義人

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ① 隔月で15日を基準に、夜間の地域巡回運動を実施した。生活指導部員に加え、P T A三役も一緒になって参加した。
- ② 9月15日に行われた運動会では、体育保健部が中心となって駐車場への誘導を行った。
- ③年3回の古紙回収活動を計画し、地域への依頼をおこなった。

取り組みの効果

- ① - 有 ② - 有 ③ - 有

—具体的な効果—

- ① 地域巡回運動とし夜19：30より2か月に1回、地域のコンビニ、商業施設、公園等を中心にパトロールを行った。P T A役員の方たちも、夜間中学生が出歩いていない現状をみて安心していた。来年度以降も継続をしていく。
- ②昨年度の反省として引き継いだ、学校以外の駐車場の確保と校内の駐車スペースでの生徒の安全確保に意識して取り組むことができた。体育保健部の多くのお父さん方が早朝から参加し誘導を行ってくれたため、事故やトラブルなく円滑に実施できた。

—反省点—

- ② 古紙を積んだ車が詰まってしまったことがあった。

—改善案—

- ③ 古紙を積んだ車から、古紙をスムーズに降ろせるように、車が通るルートや古紙を降ろす位置の配置を変えた。その結果車が詰まることは少なくなった。

平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士川第一中学校

会長名 田邊 博章

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

- 【本部】 ・本部、学校間の連携強化（学校行事への積極的な協力等）
- 【生活指導部】 ・春、秋季交通安全・あいさつ運動 ・下校時安全指導
体育祭駐車場警備（商店への無断駐車防止）
- 【環境整備部】 ・廃品回収（2回） ・愛校作業（学校敷地内の除草作業）
- 【成人教育部】 ・機関紙「ゆうかり（2回）」「ゆうかり瓦版（1回）」の発行
- 【体育保健部】 ・思春期講座（2回）・体育祭 P T A 種目への参加の呼びかけ
- 【家庭教育委員会】 ・バザー開催 ・コサージュづくり

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果が出なかったのかを「反省点」に記入）

－具体的な効果－

- ・あいさつ運動では、正門にて P T A 役員、専門部の部員と先生方がハイタッチをして生徒を迎え親交が深められた。
- ・愛校作業では、例年より草木が多く、また熱い中での作業であったが、先生、生徒、保護者が一体となって汗をかき、学校とのふれあいや親子とのふれあいも深められた。

－反省点－

- ・あいさつ運動の立哨場所について、生徒の通り道や通過時間等に合わせて見直しすべきとの意見が出され改善をした。
- ・下校時安全指導では、校舎の一部解体工事に伴い解散場所の変更や、降雨により予定していた時間よりも下校時間が早まったことから、保護者が指定場所に到着する前に生徒が通過してしまい巡回指導できなかった。

－改善案－

- ・専門部の各種活動について説明が口頭であったため、連絡や説明不足となった。来年度は配布資料を活用する等の改善をする。

以 上

平成29年度 P T A活動最終報告

学校名 富士川第二中学校 会長名 大長 剛二

平成29年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・各専門部の活動内容の充実
- ・「二中フェスタ」をP T A活動の柱として、より定着させるための活動内容の精選。

取り組みの効果

1. ① 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

－具体的な効果－

・本部役員会を理事会として、各専門部の委員長にも参加してもらうことで、各専門部の横のつながりができるようになり、また各専門部での話し合いがより充実するようになった。給食試食会やP T A新聞など、例年行っている活動でも、その内容を新しくしたり、昨年とはひと味違う工夫を取り入れたりするなど、それぞれの活動を広げることができた。

・リサイクル活動は、中学校単独で行い、町内ごと代表者が集めて、学校の駐車場で回収した。更に2回行うことで回収量を増やそうとした。

－反省点－

- ・最近、古紙の回収ステーションがあり、家に古紙を置いておくことがなくなったこともあり、回収量が少なく、昨年度よりも増加したが、まだまだである。
- ・学校公開日のアンケート回収率が大変低く、アンケートの置き場や回収方法を再考する必要がある。

－改善案－

- ・学校公開日のアンケートを後日にするこで、回収率を少しでもあがることできる。